

# 振り返る力

庄原市立庄原小学校 校長：西田 早苗【施設泊】国立三瓶青少年交流の家

## 子供たちが高めたい資質・能力を意識して取り組む体験活動

### 1 「山・海・島」体験活動を通じて育てたい児童の姿

庄原小学校では、「長期集団宿泊活動【実践編】Vol.2」で示したように、自ら課題を見つけ、主体的に学び、仲間と協働して、よりよく課題を解決する資質・能力を高め、児童が様々な課題に主体的に、果敢に挑戦する学びへの自信を高めさせたいと考えました。このため、「山・海・島」体験活動はこれまで授業の中で学んだ様々な資質・能力を総動員し、児童自身が主体的に課題解決を図る場として設定することを考えています。

このため、他教科と「山・海・島」体験活動を関連付けたカリキュラムマップを作成し学校の取組を体系化させました。また、児童が主体的に課題解決をするためには児童自身が教育活動の目標を立て、その目標に準拠した「学びの姿ルーブリック」が効果的であると考え、日常的に学校全体で取り組んでいます。この目標に準拠したルーブリックを「山・海・島」体験活動にも活用し児童が主体的に課題解決に取り組むことができるようにしてきました。

5つの力	レベル1	レベル2	レベル3
活用できる知識・技能	・基礎となる知識・技能を身につける ・他教科で学んだことを「ゆめかな」で使う	・「ゆめかな」で学んだことを他教科で使う ・他教科で学んだことを「ゆめかな」で使う	・いつでもどこでも必要な時に必要な知識を使う ・学んだことを使いやすいように整理する ・活用できる形にかえる
課題を見つけ追究する力	・疑問(?)をもつ・見つける ・予想をもとに追究していく	・解決の見通しをもつ ・自分から進んで調べる ・調べたことを見直す ・まちがいを生かして調べ直す	・さらに新しい課題を見つける ・結果に納得するまで調べる
共に学びをつなげる力	・相手の発言をよく聞く ・ペアワーク・グループワークを進んでする ・協力する	・友達の考えにつけ加える ・理由をはっきりさせて言う ・互いの考えを認め合う ・自分の考えをもつ	・考えをまとめる ・今の考えより、さらにより考えになるよう話し合う
目標をもってやりぬく力	・目標を立てる	・1つ1つやり切る ・最後までやり切る ・どうやったら達成できるか見通しをもつ	・目標がどこまで達成できているか、自分でふり返る ・新しい目標をたてる
学びへの自信	・学びのふり返りを書く	・苦手なこともチャレンジする ・自分の得意・苦手が分かり努力する ・学びを次に生かす	・新しいものを創造する ・自分の成長が分かる

このことで、子供たちは、登山や野外炊飯などで、グループで協力して共に学びをつなげるような挑戦をする中で、学びへの自信に気付き、自分には課題に挑戦して解決できる力があると自信を高めていきました。しかし、実生活において身についた力をもっと活用できる場面で活用がとどまっているような状況があり、もっと児童を主体的にすること、実生活において活用させるには、複数の力が複合的に関係付いていることが課題であると考えました。

そこで今年度は、昨年度の改善を図り次の3点を新たに行うこととしました。

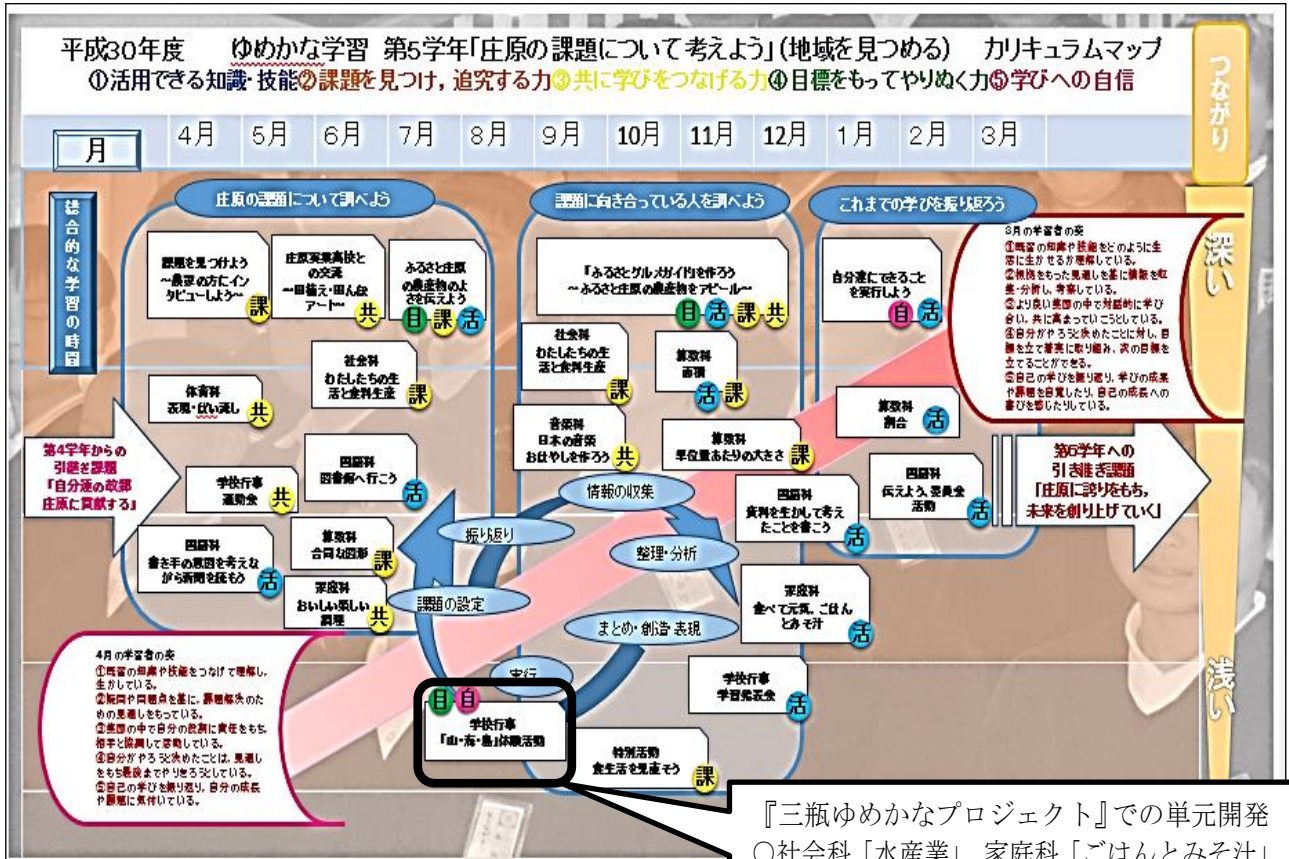
- カリキュラムマップを基に児童自身に活動の意義を考えたり、どのような力を付けるのかを明確にさせて、体験活動に取り組ませるよう、資質・能力と体験活動との関連を考えることができるよう手立てを打つ。
- 自分たちで体験活動の中で、これらの資質・能力を総動員し、どのように挑戦できたかを目標に準拠して活動直後ごとに振り返らせる小さな振り返りと、「1日を通して」、「3日間を通して」という総括的なふりかえりを組み合わせて行う。
- 体験活動で身に付けた資質・能力をさらに伸ばすための新たな目標設定をする。＝ルーブリックの作成

年間を通したカリキュラムマップ  
○教科等の指導と体験活動の関連付け  
・活動後の姿をイメージさせ、その姿になるために必要な力の具体を考えさせる。

「山・海・島」体験活動プログラム  
「三瓶ゆめかなプロジェクト」  
○体験活動で育成したい資質能力の明確化  
・目指す学びの姿と、各活動で高めたい資質・能力との関係をイメージ図として作成させる。

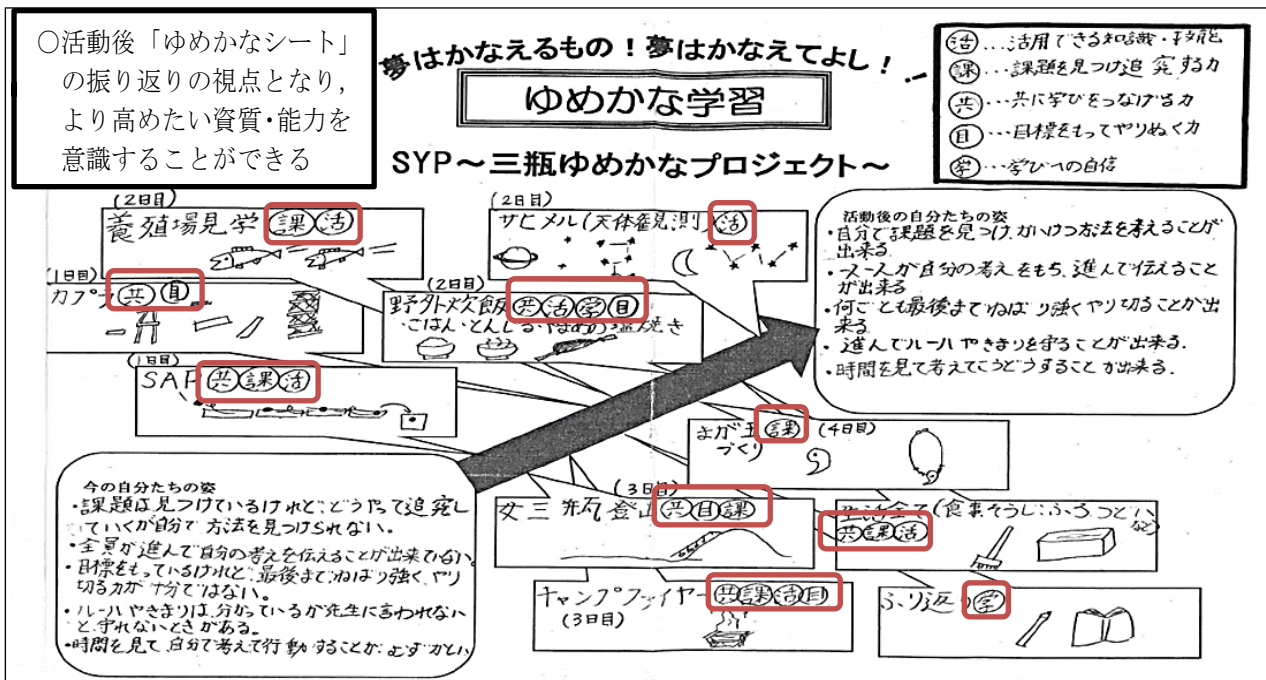
事後  
○体験活動で身についた資質能力をさらに高める  
・複数の力が複合的に関係付いていることに気付かせる。

第5学年カリキュラムマップ



目指す学びの姿と、各活動で高めたい資質・能力との関係を示したイメージ図

- ・児童一人一人が作成をして、その後、全員で共有をする。作成したイメージ図は、体験活動のしおりに掲載をし、児童はそれを見て、活動の振り返りができるようにしている。
- ・各活動の担当を決め、その活動で身に付けたい力を「学びの姿ルーブリック」を基にして書き入れ、一つの活動で、複数の力が関連付いていることに気付かせる。
- ・しおりに作成する時には、前年度に体験をしている6年生へのインタビューを行い、しおりに必要な情報を書き加えさせる。



## 2 「山・海・島」体験活動の概要

### (1) 三瓶ゆめかな (SYP) プロジェクトの目標

- 課題を自分で見つけ、友達と話し合いながら解決する。
- 友達の考えを認め、よりよい活動になるよう学びを広げ深めていく。
- 目標をもってやりぬく。
- 自然のすばらしさを感じ取り、自然の中で進んで活動する。

### (2) 3泊4日の主な内容

	午前	午後	夜
1日目	入所式	人間関係づくりSAP 施設内見学	カブラ 振り返り
2日目	養殖業体験・川魚つかみ取り	スタンプ練習 野外炊飯	振り返り 天体観測
3日目	家族への手紙 登山	スタンプ練習	キャンプファイヤー
4日目	勾玉づくり 振り返り	退所式	

## 3 体験活動の指導の工夫

	当日	「山・海・島」体験活動を生かした事後の取組
	振り返りの充実 (「ゆめかなシート」の活用)	体験活動での学びの自信の広がりと継続
ねらい	○「ゆめかなシート」をもとに、活動を振り返ることで自己評価力を高め、学びへの自信や新たな課題を設定する力を付ける。	○体験活動で得た学びへの自信を他教科や学校生活等につなげ、さらなる成長を目指す。
活動内容	○しおりをもとにした各活動で身に付けたい力の確認 ○「ゆめかなシート」をもとにした振り返り ○次の目標の設定	○「学びの姿ルーブリック」の見直し ○友達の頑張りやよいところの交流(発見カード) ○「山・海・島」体験活動実践発表会 ○国語科との関連を図ったポスターの作成 ○保護者・地域への発信
指導のポイントや工夫	○各活動の前に、担当児童がしおりをもとに、その活動で付けたい力の確認を行う。 ○「学びの姿ルーブリック」をしおりに印刷し、振り返りをする際の指標にさせる。 ○振り返りは目標が達成できた、できなかっただけではなく、なぜ達成できたのか、またはこうすればよかったなど、成長の過程が分かるように書かせ、途中過程を評価するようにする。 ○振り返りの時間を帯で設定し、体験と振り返りの一体化を図る。(今日の目標・振り返り・明日の目標・友達の頑張り)	○「学びの姿ルーブリック」の見直しを行い、今の自分の姿や新たな目標を設定させる。 ○振り返りで「ゆめかなシート」に書いた友達の頑張りを見つけたカードに書き、カード交換をしながらお互いの成長を評価させる。 ○「山・海・島」体験活動実践発表会に向け、「ゆめかなシート」に書いたそれぞれの振り返りの言葉を集めシナリオを作成し、伝えたいことを明確にして取り組ませる。場面毎にグループ分けをし、発表の工夫を考えさせたり、お互いの表現を評価させたりしながら主体的に活動させる。 ○庄原の農業と三瓶の養殖業など、体験活動で学んだことを整理し、国語科の学習と関連させてポスターを作成する。(実践発表会、学習発表会で掲示し学びを発信) ○体験活動での学びをお便りや、参観日に伝え、保護者からも評価してもらおう。また、学習発表会でも体験活動での学びを伝え、他学年や地域の方への発信もする。



#### 4 取組による成果

(1) 児童の学びへの自信が深まることに関する児童の自己評価の高まり (ゆめかなシート)

課題を見つけ 追究する力	レベル3	今はスタンプのときに先生に助けをもらわず、ゆめかななどで習ってきたことを生かし、自分たちで考えることができています。
-----------------	------	--

「ゆめかな」などで習ってきたこととは…  
「1学期に行った『農業活性化プロジェクト』で庄原の農業の課題について農家の方から聞き取りを行い、自分たちにできる取組を考え実践しました。『SYP』でも自分達で課題を設定し、グループで話し合いながら課題解決に向けて活動したことで、自分たちでスタンプなどの活動をやりきることができました。」

5年1組 学びの姿ルーブリック			
	レベル1	レベル2	レベル3
活用できる知識・技能	基礎となる知識・技能を身につける	ゆめかなで学んだことを他教科でつかう 他教科で学んだことをゆめかなで使う	いつでもどこでも必要な時に必要な知識を使う 学んだことを使いやすおに整理する 活用できる形にかえる
課題を見つけ追究する力	疑問(?)をもつ・見つける 予想どおしに追究していく	△解決の見通しをもつ △自分から進んで調べる △調べることを見直す △打ちあいを生かして調べる	さらに新しい課題を見つける △結果に納得が得られて調べる 自分なりにどうしたらいいか工夫して追究する
共に学びをつなげる力	相手の発言をよく聞く スタートアップ・グループワークを進んでやる 協力する	友達の考えにつけ加える 理由をはきりせて言う 互いの考えを認め合う 自分の考えをもつ	考えをまとめる 今の考えより、さらによ、考えにのり話し合う
目標をもつやりぬく力	目標をたてる	← 1つ1つやり切る ← 最後までやり切る(自分の決めたことはやりぬく) どうやらたら達成できているか見直しをもつ	目標がどこまで達成できているか自分で振り返る 新しい目標をたてる 自分から進んで行動し見直しをもつ どうは目標を達成できるか考える
学びへの自信	学びの振り返りを書く	苦手なことチャレンジする 自分の得意、苦手が分かって努力する 学びを次に生かす	新しいものを創造する 自分の成長が分かる お前目標をもつ(さらに上へ)レベルアップ

目指すべき学びの姿を示し学級に掲示している「学びの姿ルーブリック」を活動後に見直し改善したもの

目標をもつやりぬく力	レベル2	「山崎島」ではカマクラ(カキのたも)が最中できなかったけれどどうすればいいのか見直しをもつことにより成功できたから
------------	------	---

共に学びをつなげる力	レベル3	算数の授業ではグループで話し合いさらにより考えになるようにしている。
------------	------	------------------------------------

**5つの力の相乗効果について、児童の感想**

- 「学びへの自信」については、目標をもって学習に取り組むことで、「目標をもってやりぬく力」が高まり、目標がどこまで達成できているかを自分や友達と振り返ることができるようになってきています。
- 総合的な学習の時間での学習では、新たな課題を見つけ、それを追及しようとする活動を通して、新たな課題を見つけたり、その課題に自分だったらどう考えるかということが考えたりすることができるようになってきました。
- 5つの力の振り返りを通して、以前はレベル3だったものが、レベル2になることに気がきました。振り返りをしたら、自分たちのレベルが上がっていているように感じています。

例) 養殖場見学 (課) 「課題を見つけ追究する」 (活) 「活用できる知識・技能」

「どんな良さがあるから、三瓶山で養殖業を行うのですか。」

1学期の総合的な学習の時間で「庄原市の農業」について、朝晩の温暖さが大きいことから農作物の育ちが良いなどの産地のメリットに関する知識を活用して、三瓶での養殖業との関係を、養殖業の方に質問をしている。

(2) 体験活動で得た「学びへの自信」の広がり（他教科や学校生活等）

体験活動の振り返りに活用した「ゆめかなシート」は、ポートフォリオとして蓄積しておき、体験活動後に振り返ることができるようにしました。

夢はかなえるもの！夢はかなえてよし！

**ゆめかな学習** 10月1日

SYP～三瓶ゆめかなプロジェクト～  
SYP（三瓶ゆめかなプロジェクト）後の自分の姿を「学びの振り返りシート」で振り返ろう。

5つの力	今の自分のレベル	具体的な姿
活用できる知識・技能	レベル2	国語の授業で習ったことを総合のポスター作りで活かせているから
課題を見つけ追究する力	レベル2	算数の問題が出た時その時のめあてを自分で予想したり、自分の考えの他にほかの考えを考えているから
共に学びをつなげる力	レベル3	算数のグループ学習でみんなの意見を合わせてホワイトボードにまとめられているから
目標をもってやりぬく力	レベル2	自分が立てた目標を達成するために何をすればいいか考えているから
学びへの自信	レベル2	国語や算数で前の授業とつなげてその日の問題を考えられるから

国語科の授業で習った見出しの付け方や、表や図の活用等、内容がよりよく伝わるような工夫を総合的な学習の時間のポスター作りに活用できた。



夢はかなえるもの！夢はかなえてよし！

**ゆめかな学習** 10月1日

SYP～三瓶ゆめかなプロジェクト～  
SYP（三瓶ゆめかなプロジェクト）後の自分の姿を「学びの振り返りシート」で振り返ろう。

5つの力	今の自分のレベル	具体的な姿
活用できる知識・技能	レベル2	ゆめかな学習で学んだ資料の使い方を国語で生かしている。
課題を見つけ追究する力	レベル2	理科の授業ではどのようしたら解決することができるのか見通しがもっている。
共に学びをつなげる力	レベル3	算数の授業ではグループで話し合いさらによい考えがなるようにしている。
目標をもってやりぬく力	レベル3	ゆめかな学習では目標をこえようと、さらに新しい目標をたてることかできている。
学びへの自信	レベル3	外国語では自分がどのよう英語を使えるようになったかなど、自分の成長が分かる。



友達のことを積極的に聞こうとする姿が外国語活動を中心に見られるようになった。

外国語では自分がどのような英語を使えるようになったかなど、自分の成長が分かるから、学びへの自信がもてるようになった。

活動後に書いた、自分のクラスについての新しい発見。学級・学年としても成長を感じることができ、授業などでの話し合い活動でも進んで参加する姿が多く見られるようになった。

5年2組

《新しく発見したいところ》

- 失敗しても、たれかを責めるのではなくみんなで解決しようと前向きに考えることができる。
- 友達の良いところや、頑張っていることを見つけ全員で喜んだり、ほめたりすることができる。
- ゆめかなシートを書くことを通して自分の活動を振り返りまとめる力がついた。

